

広報



たかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部10円)

◆編集と発行 廣島町役場総務課秘書係

☎ (2)一1111

◆発行日 毎月1日・15日

◆印刷所 株式会社秋北新聞社

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書係へご連絡ください。

No. 247・9・15



訪ソの二週間

訪ソ青年の船、国境を越え人種、思想、政治体制の違うソ連邦に福井、秋田両県青年二五、人が基本テーマ「若者の連帯、ユーラシアの友情、あすの私」をかけ、ま

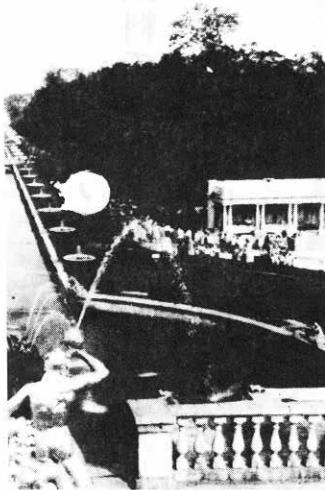
金沢
幸治

た、團員一人一人が個々に自分のテーマを持ち、意欲と希望に花を咲せブリアムーリエ号（アムール河のほとり号）で、一路ホトカ港に向かつた。ホトカまで二十五時間船内での生活は若いソ連の乗組員との交流で初まり、英語、ロシア語、日本語のチャンポンの切れ切れ会話、でも結構なんとか通じあえるものです。この経験は訪

▲クレムリンの前で金沢君

ソ中、のちのちまでロシア人と接するときの貴重な自信となつたようすです。また翌日には日本海の船上で盛大な成人式を行なうことが出来、成人者九名斬新的な義務、責

ペトロトウオリヤツ公園



ロフスクに到着、シベリアコースの人々と別れ、一路モスクワまでの初めての飛行機、時間差、一日が三十二時間と長くなりモスクワ空港に着いてもまだ明るく、その日にかぎり六回の食事を取ることが出来た、天候も良く雲一つない空で僕たちを迎えてくれた。ソ連の人々もジーラーシャー、スパンヘルバ（喜びの言葉）と愛きようをふりまいてくれ僕らを心から歓迎してくれました。モスクワでは「クレムリン宮殿、赤の広場、モスク

ワ大学、友好会会員等をこの目
でつぶさに見学校研修することがで
き、公共の使用物、貴重な品物、
歴史的な宝、市内郊外における練、
予想以上の歓迎、親善交流会、指
導下にある強力な組織なんと言
うのか、とにかく素晴らしい「喜び、
感激、驚き」日本人として学ぶ点
が首都モスクワで強く感じました。
また、モスクワから最後の研修都
市レニングラード、ロシアの歴史、
文化、革命の英雄都市、またとて
も美しい都市アーハンツェフ、川岸の花、岩の

護岸、川岸からの川面への階段、
その両側の石の彫刻や円柱が美しさを増している。
又この都市は工業地帯であると聞いたのに流れる水は清く市内で釣糸をたれている人も多く見ることが出た。また数々の美術館、公園、宮殿、文化、芸術的施設の鑑賞でもあった。



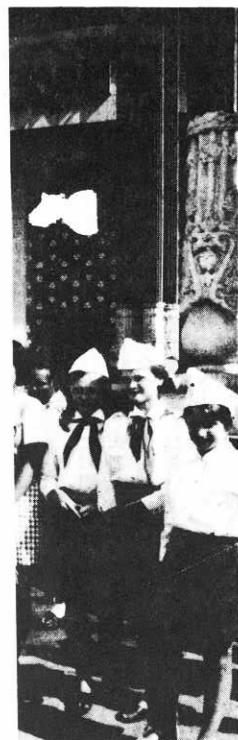
▲モスクワ大学

か の す

訪ソ青年の船

海外研修団員」として、青年の船で訪ソした金沢幸治君
鳩巣一は、およそ2週間にわたりソ連各地を訪問、見
た。

ううつったかしてもらいました。



ともと工藤さん

(5) 昭和47年9月15日

見聞ひろめた

県の立県100年を記念して、ことし初めての「県青年海

(20)=綴子宇掛泥=、工藤良子さん(20)=鷹巣宇菜鷹

新聞を広める一方、日ソ友好促進に努め、元気に帰郷しまし

そこで、初めて訪れた巨大国ソ連は2人の青年の心にど



▲赤の広場で工藤さん

訪ソ青年の船に 参加して

工藤 良子

立県百年目を記念して企画された海外研修は、二週間の日程に

スボーツ交流を通して、日ソ青年友好の輪への第一歩を踏み入れました。今日の日本は公害問題や交通事故などが、大きな社会問題となつておますが、ソ連ではこのような問題がまるで嘘のように、青く澄みきった空に人々は自然を大切にし、自然を愛しています。その証拠には各地に幾つの公園があり、どこを歩いても街路の木々の緑、手入れのゆきとぞいた沢山の美しい花や芝生があり、人々はゆっくりと散歩を楽しんでいます。このような美しい環境に囲まれた生活からくるのか、私達日本人か

り、ソ連各地を見学し云能交流、スボーツ交流を通して、日ソ青年友好の輪への第一歩を踏み入れました。今日の日本は公害問題や交通事故などが、大きな社会問題となつておりますが、ソ連ではこのよう

な問題がまるで嘘のように、青く澄みきった空に人々は自然を大切にし、自然を愛しています。その証拠には各地に幾つの公園があり、どこを歩いても街路の木々の緑、手入れのゆきとぞいた沢山の美しい花や芝生があり、人々はゆ

っくりと散歩を楽しんでいます。このように美しい環境に囲まれた生活からくるのか、私達日本人か

り、ソ連各地を見学し云能交流、スボーツ交流を通して、日ソ青年友好の輪への第一歩を踏み入れました。今日の日本は公害問題や交通事故などが、大きな社会問題となつておりますが、ソ連ではこのよう

な問題がまるで嘘のように、青く澄みきった空に人々は自然を大切にし、自然を愛しています。その証拠には各地に幾つの公園があり、どこを歩いても街路の木々の緑、手入れのゆきとぞいた沢山の美しい花や芝生があり、人々はゆ

モスクワ川とロシアホテル

ゼロに等しく思われました。

文化、生活面はこのくらいにして、なんといっても私が一番深い感銘を受けたのは、全世界にもその名が高いレニングラードです。



横断歩道は手をあげて
いそいで渡りましょう

ことしの秋の全国交通安全運動は九月二十二日（金）から十月一日（日）までの十日間、実施されます。

秋の交通安全運動

9月22日～10月1日

「子どもと老人をみんなで
交通事故から守ろう」

前回の春の運動の特徴は、新入学、入園の児童、園児

以上の目標を遂行するため
次の諸施策が講じられます。

た。この結果、全体として事故率が著しく減少したばかりでなく、その後も減り続けています。しかし、歩行者事故、とくに老人の歩行中の事故に関しては、減少効果が少なかつたようです。そこで、今回の運動では歩行者のなかでとくに事故率の高い子どもと老人の事故防止に重点をおくことになります。

前回の春の運動の特徴は、新入学、入園の児童、児童の事故防止に重点をおいたことです。小学校（保育所、幼稚園を含む）を中心とした地域には、「スクール・ゾーン」（近くにこどもの交通安全の確保をはかる特定地域）を設け、交通安全対策を総合的に講じてきました。子どもと母親に対する通安全指導を推進しました。

スクール・ゾーンを再点検し、子どもの安全を確保するための交通安全施設の整備を実を促進し、強力な交通規制を実施する。

交通安全指導

ことでも（およびその保護者）老人、運転者に対して、それぞれの安全指導を行ないます。具体的には、保護者の指導を重点に行ない、子どもの帰宅後の交通事故防止の指導。自転車の乗り方教室や交通安全等を開催し、また老人については老人の特性からみて、自転車の安全な乗り方や交通安全推進員等により、老人の家庭を訪問する機会をとらえ、積極的な指導を行なうことになっています。

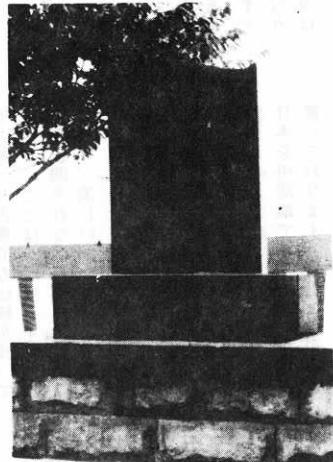
鷹巣獵友会では、中央公園を野鳥の楽園にしようと、このほどキジの90日ヒナ6羽を放鳥しました。

このヒナはまもなく成鳥となり、来春には繁殖期に入ることになります。獣友会では、公園近辺の野鳥にはいたずらしないでほしいと語っています。



町農業委員会主催の第3回農業者大会が鷹巣町公民館で開かれました。

大会には関係団体や農民など約400名が参加、「農業生産の地域指標を明示し、生産物の価格を補償せよ」など7項目の大会スローガンをかけ行なわれ、各団体から5議案が提出、いずれも原案どおり可決。決議された事項の実現を期するため、関係機関に要望することをきめました。



鷹巣町栄町、俳星故岩川碧涯氏（本名岩川義郎）の句碑が遺族によって中央公園展望台のそばに建てられました。

句碑には「鶯や雪の高嶺を奥に重ね」としるされてあり故人の業績をしのぶとともに公園を訪れる人から喜ばれております。

7)

第一回県民スポーツ大会

わが町の選手・各種目に大活躍

栄えある優勝者

成田選手

高橋選手

富山選手

宮腰選手

戶籍選主



市町村対抗リレーで初優勝

第一回国民スポーツ大会(注)
八月二十六日から三日間秋田市八橋陸上競技場を主会場に開催されました。わが鷹巣町から参加した各選手は、日々鍛えた力を十分に發揮、団体テニスの三連勝、陸上市の町村対抗リレーの初優勝、また個人でも五人が優勝したほか、砲丸投げ四十歳以上五十歳未満に参加した出川町長が三位、五十歳以上に参加した佐藤勇議員が四位に入賞するなど各種目にめざましい成績をおさめました。

成績は次のとおりです

一位 || 石島三八
六位 || 津谷房男

敬老の日

かつたら、日本中で「名月」
が見られるわけです。
雲折々人を休むる月見或

△同女子砲丸投げ

△同女子砲丸投げ

13

広報の じおり



「みんな必ず年をとります。自分のため、きよめの老人のために力を合わせてがんばりましょう」――
昨年の敬老の日に東京でなされた「健康で安心できる老後をつくる全国大集会に集まつた高齢者約一万名前にして加藤勘十さんこうあいさつしました。
老年期は、すべての人必ず訪れてくる時期です。きょう敬老の日に、老後をあわせについて考えてましょう。
さて、ひとくちに老人といつてもヒンからぎりまつたとえば六十五歳でも、「あれはまだ年ではない。こうして毎日ビンビン毎日働いている」という人、守りばかりでおはあさや、「あしたやもう毎日孫の守りばかりでねえよ」という五十歳のノ性とでは、そこに含まれるイメージを考え方に大きへだたりがありましょう。



87

